

座礁した貨物船から11日ぶりに救助されたヨナグニウマ。22日、与那国町内



ヨナグニウマ救助 11日ぶり

【与那国】与那国沖の北東部で10日に座礁した貨物船から、1歳半のヨナグニウマが20日午後、無事救助された。11日間、飲まず食わずの状態で見守られてきたとみられる。貨物船は与那国島から那覇に向かう際に座礁し、現在も乗り上げたまま。ヨナグニウマは売りに出されていて、貨物船のコンテナで輸送する途中だった。貨物コンテナ内は暗闇で臭いが充満していたとみられるが、気温が安定していたことや、大きな傾きや頻繁に続く揺れ



貨物船座礁で飲まず食わず

がなかったこと、出荷前の栄養状態が良かったことなど幸運が重なり、死を免れた。救助後、治療に当たった県農業共済組合の獣医師名嘉元俊二さんは「発見時、子馬は痩せていたものの、自らの足で立っていて一安心した。脱水症状の心配があり点滴治療を一度したが、その後は自力で寝起きし、食欲もあるようなので、経過観察をしている」と話した。よほど寂しかったのか、救助されたヨナグニウマは人が近づくとそばから離れようとした。 (東濱リ工通信員)